

通年（特に冬季に）みられる感染症

① インフルエンザ



【概要】

- インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症。
- 通常の風邪に比べ、全身症状が強く出やすい。
- インフルエンザウイルスにはA型・B型・C型があり、流行的な広がりを見せるのは、A型とB型。

【感染経路】

- 患者の咳やくしゃみ、会話の時に発生するしぶき（飛まつ）に含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」。
- ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」。

【潜伏期間・症状】

- 潜伏期間は1～4日（最長7日）。
- 発熱、頭痛、関節痛、咽頭痛、鼻水、筋肉痛、おう吐、下痢など。
- つらい症状を抑える対処療法、抗インフルエンザ薬による治療が中心。気管支炎などを併発している場合、抗生物質が処方されることもあります。

【予防対策】

- ワクチンの接種
- 手洗い、うがい、マスクの着用

